

11月22日(水) 10:30~12:10

	Room A	Room B	Room C	Room D	Room E
	座長 隅 藏 康 一	座長 小山田 和仁	座長 近 藤 正 幸	座長 新 村 和 久	座長 林 和 弘
10:30-10:50	3A01 (1D17) 大学運営業務に関 わる層における職務 活動時間の分析～ FTE調査を用いて～ ○山本 弦(文科省)	3B01 (2G03) スタートアップ事業の 現状と今後の考察 ○西口 泰(株式会 社大阪わいずプラン ニング)	3C01 (1C22) 日米独企業のインド を拠点としたグローバ ル・イノベーション・ ネットワークー国際出 願特許定量分析ー ○近藤正幸(開志専 門職大)		
10:50-11:10	3A02 (2D07) 国際的活動やグロー バル化を大学は把握 できているのか？ー 国際IRという提案ー ○望月麻友美(阪 大), 和嶋雄一郎(名 古屋大)	3B02 (2C24) イノベーション研究に おける企業内企業家 の位置付け:なぜ 今、ピンチか ○山田貴子(立命館 大)	3C02 (2E07) 米国企業のグローバ ル・イノベーション・ ネットワークーインド 拠点・シンガポール 拠点・タイ拠点の比 較ー ○近藤正幸(開志専 門職大)	3D02 (2B16) 脱炭素社会実現に 向けたAI未来シナリ オシミュレータの開発 と評価 ○森本由起子, 池ヶ 谷和宏, 福田幸二, 森木俊臣, 味八木真 理子(日立製作所)	3E02 (2A21) 加藤セチ 女性研究 者のパイオニア ○吉祥瑞枝(SSM サ イエンススタジオ・マ リー)
11:10-11:30	3A03 (1F23) フィンランド・アアルト 大学における大学独 自アセスメントと学際 的研究の推進 ○望月麻友美(阪 大), 岡嶋裕子(京都 先端科学大)	3B03 (2A16) 理工系修士学生の 職業選択における Person-Job Fitの重 要性とその背景 ○宮崎航一, 白肌邦 生(北陸先端大)	3C03 (1E01) 戦略から業務レベル までDXを体系的に支 援する“DX Value Management (DVM)” の提案 ○狩野正人(北陸先 端大)	3D03 (2F08) インパクト投資を通じ たヘルスケアイノー ベーションエコシステム の形成: インパクトIPOと 非財務情報活用の 重要性 ○荒木大矢, 石川裕 之, 大藤勇斗, 新村 和久(ユカリア)	3E03 (1D15) 日本のイノベーション を阻んだ時代遅れの 著作権法解釈 ○城所岩生(国際 大)
11:30-11:50	3A04 (2C15) “みなし輸出”に関す る法令改定に対する 大学の対応について ○伊藤正実(群馬 大)	3B04 (2A08) STEAM教育の推進 ○小粥幹夫(ひとつ なぎの会)	3C04 (1D07) パーパス経営視点か ら見た技術経営に関 する一考察 ○新谷幸弘(千葉工 大)	3D04 (2F04) 製薬企業の製造部 門における動画を用 いた技術伝承の取り 組みと課題 ○上田教弘(北陸先 端大)	3E04 (1B08) 即時オープンアクセ スを目指す日本の オープンサイエンス 政策 ○林 和弘 (NISTEP)
11:50-12:10	3A05 (2C04) Research Integrity and Security: Stakeholder analysis on discourse relations and shared responsibilities in international research collaborations ○Takehito Kamata (Sophia Univ.)	3B05 (1D20) 将来の危機に対して 科学技術・イノー ベーションをどう結集す るか: 新型コロナウイルス 感染症(Covid- 19)パンデミック対応 に関するOECD危機 時の科学動員プロ ジェクトからの教訓と 我が国への示唆 ○小山田和仁 (JST), 有本建男 (JST/政研大), 加 納寛之(JST)		3D05 (1A02) 生成AIと自然言語処 理の医療への適用: 診療記録からの患者 QOL測定 ○新村和久, 重松愛 里(ユカリア), 藤倉 将平(サイシキ)	3E05 (1B09) オープンサイエンス からみたシチズンサ イエンスの変容と Scitizenの可能性 ○林 和弘 (NISTEP)